

2018年5月8日

関係者各位

東京大学中央食堂の絵画廃棄処分についてのお詫び

東京大学消費生活協同組合
理事長 武川 正吾

このたび私ども生協職員の軽率な判断により、東京大学中央食堂に展示されていた宇佐美圭司氏の絵画「きずな」が永遠に鑑賞のできない状態となりました。このような取り返しのつかない事態を防げなかったことに対して、生協の理事長として責任を痛感し、深く反省し、心よりお詫び申し上げます。まことに申しわけございませんでした。今回の事態に至った経緯については、別に代表理事が詳細に説明しているとおりで (http://www.utcoop.or.jp/news/news_detail_4946.html)。今後は二度とこのようなことが起こらないよう、現在の組織のありかたのどこに問題があり、どう改めたらよいかについて検討し、関係者のみなさまからの信頼回復に努めてまいる所存です。